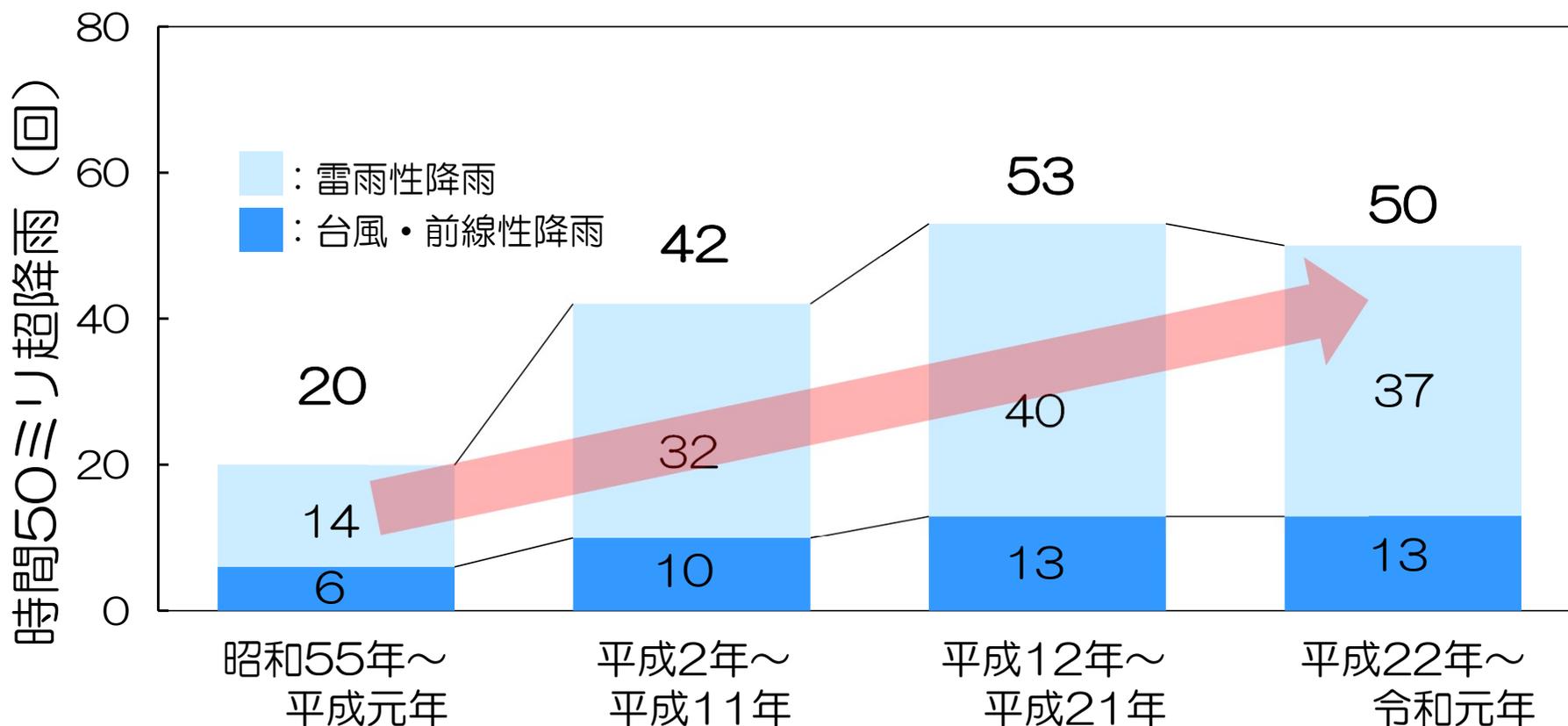


1. 計画のあらまし

東京における近年の降雨状況の変化

■ 1時間に50ミリを超える降雨の回数



近年、1時間に50^ミリを超える降雨（台風や雷雨性の局地的集中豪雨）の増加に伴い水害リスクが高まっている

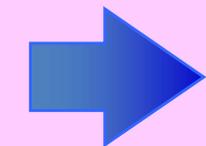
降雨状況の変化への対応が急務

河川整備の考え方

目標

整備水準

時間50ミリの降雨



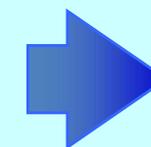
引き上げ (H24)

流域・河川ごとの特性を踏まえ

年超過確率1/20 (区部時間75ミリの降雨)

効果

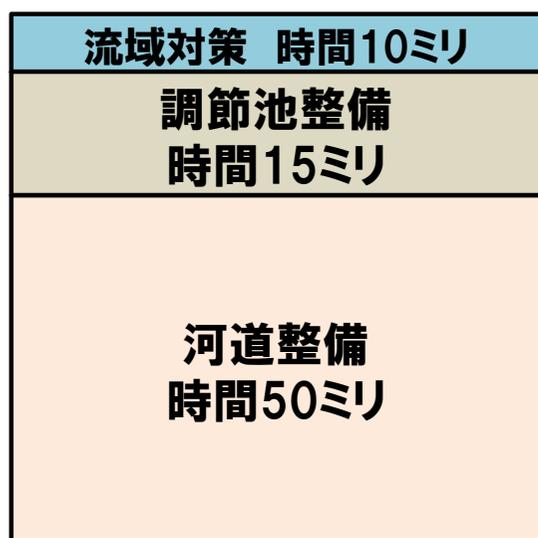
- 最大の浸水被害をもたらした狩野川台風規模の豪雨
- 時間100ミリの局地的かつ短時間の集中豪雨



安全を確保

整備の考え方

- ①時間50ミリの降雨までは、河道整備で対応
- ②時間50ミリを超える降雨については、新たな調節池と流域対策で対応



【区部の例】

時間75ミリ

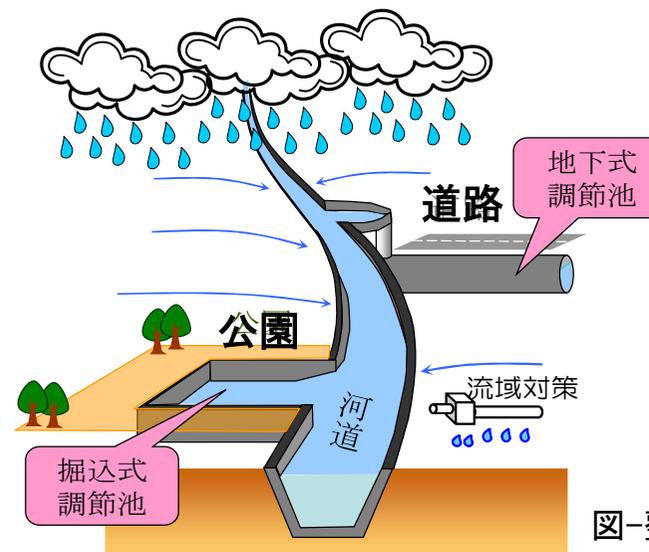


図-整備イメージ

調節池等の整備状況

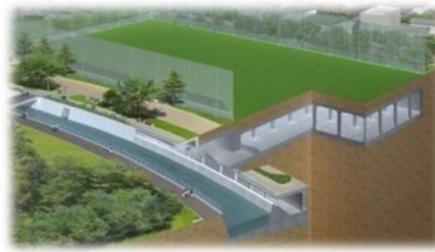
⑤野川大沢調節池
調布基地跡地（三鷹市）
規模：約68,000m³



③和田堀公園調節池
都立和田堀公園（杉並区）
規模：約17,500m³



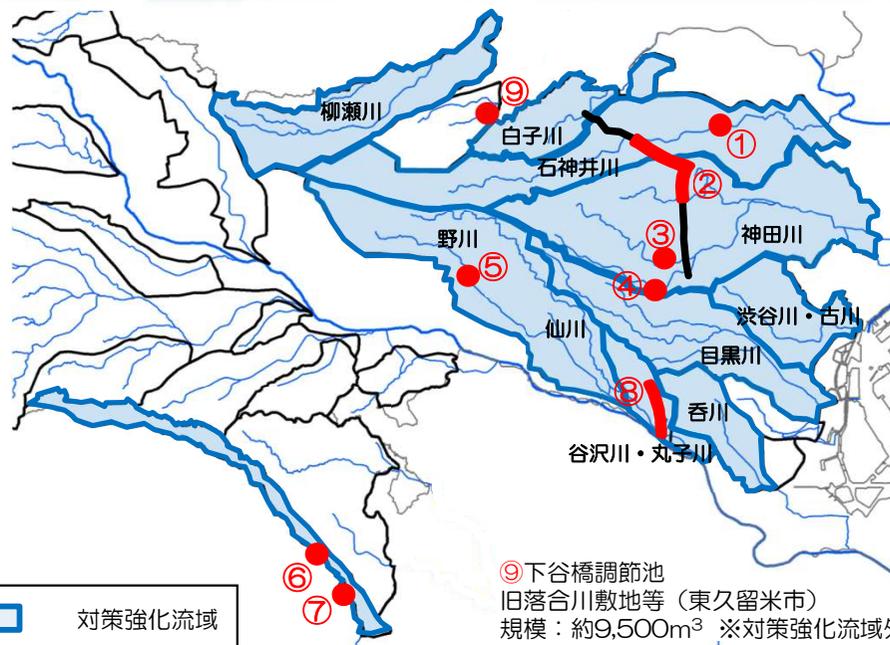
④下高井戸調節池
区立下高井戸おそら公園（杉並区）
規模：約30,000m³



①城北中央公園調節池（一期）
都立城北中央公園（練馬区・板橋区）
規模：約250,000m³



⑥境川木曾東調節池
境川クリンセンター跡地（町田市）
規模：約49,000m³



②環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）
環状七号線、目白通り（練馬区・中野区）
規模：約681,000m³



※写真は整備イメージ

⑦境川金森調節池
西田スポーツ広場（町田市）
規模：約151,000m³



⑨下谷橋調節池
旧落合川敷地等（東久留米市）
規模：約9,500m³ ※対策強化流域外



⑧谷沢川分水路
環状八号線、玉川通り等（世田谷区）
規模：約3.2km



※写真は整備イメージ

善福寺川（荒川水系一級河川）の概要

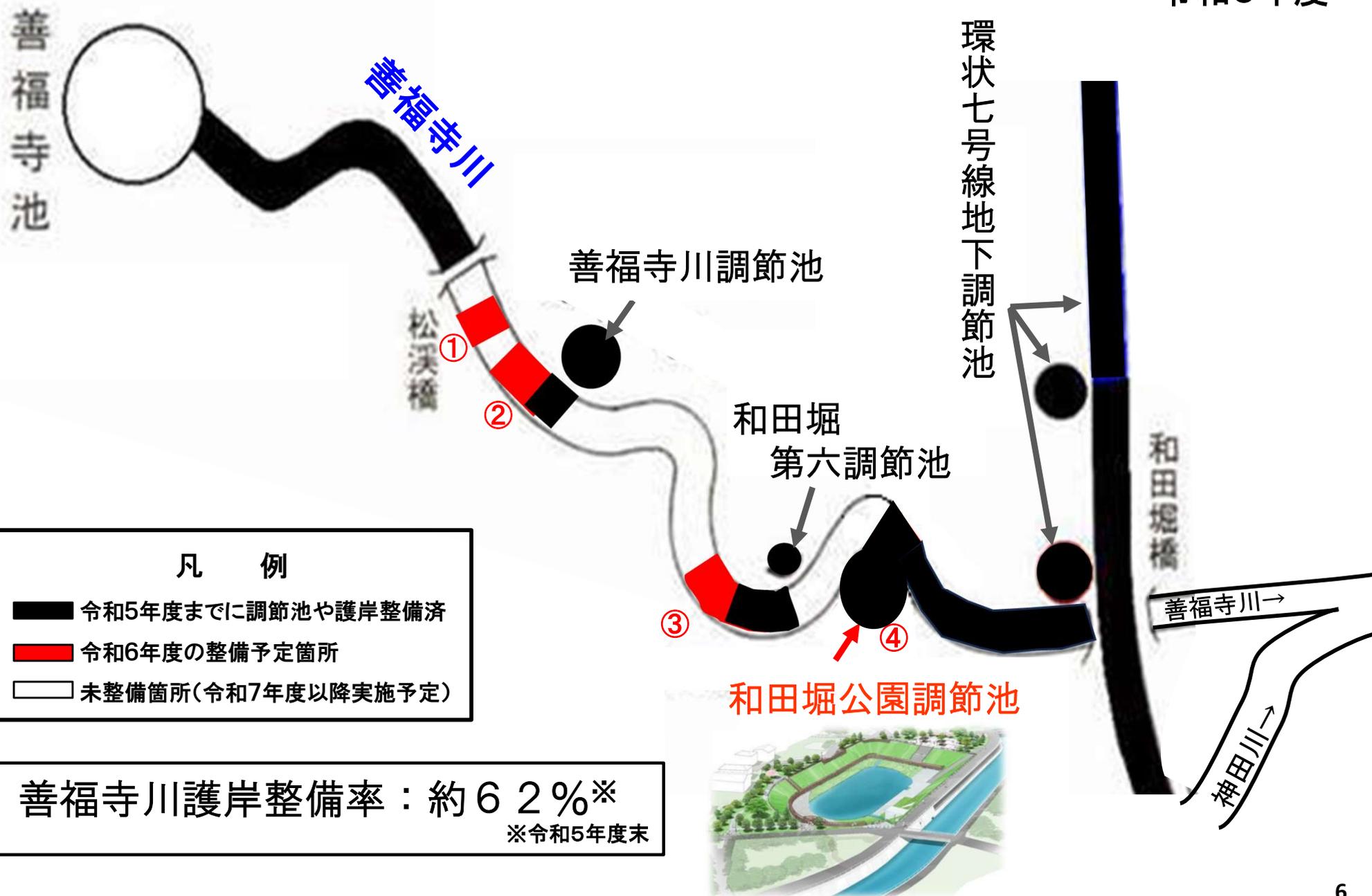


○流域面積 18.3km²（中野区、杉並区、練馬区、武蔵野市）

○河川延長 10.5km
下流端：神田川合流
上流端：杉並区善福寺二丁目

善福寺川の整備状況

令和6年度



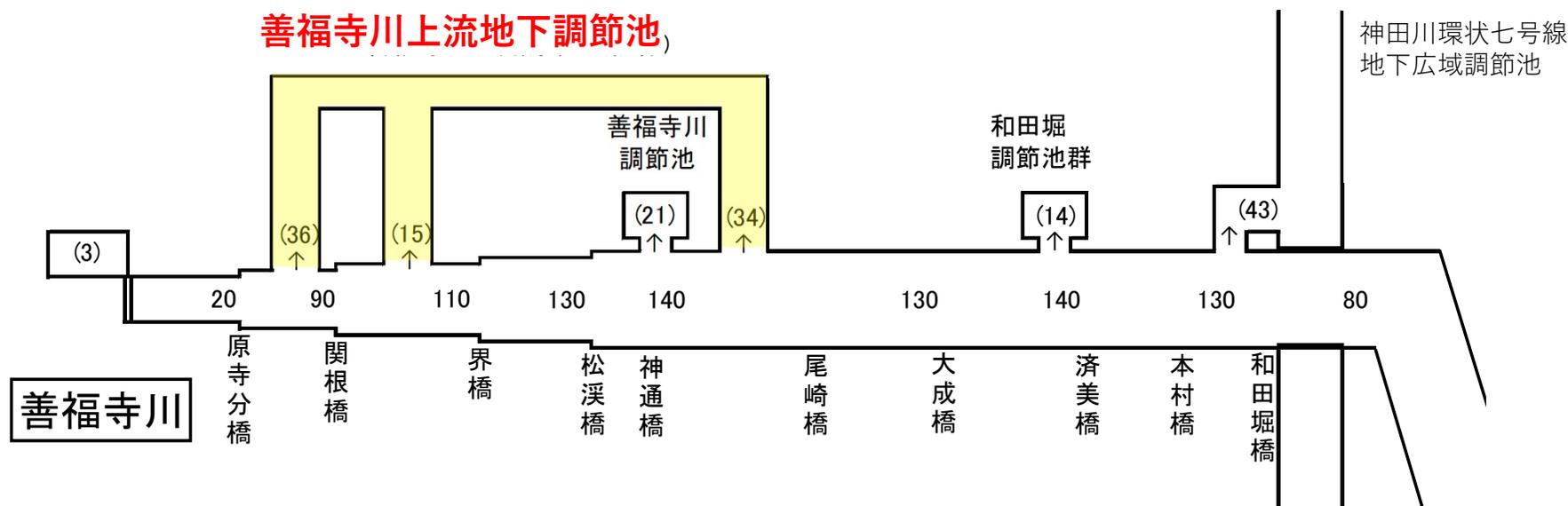
善福寺川上流地下調節池の計画

- 神田川流域河川整備計画（令和5年3月 改定）に基づく調節池
- 善福寺川において、時間最大75ミリの降雨に対応するための調節池

【神田川流域河川整備計画における内容】

位置	計画調節池容量
原寺分橋～関根橋 関根橋～界橋 神通橋～尾崎橋	約30万 m^3

● 流量配分図 【単位 m^3/s 】



2. 水害の状況

過去の代表的な水害

■善福寺川における主な水害

	①狩野川台風	②平成17年9月豪雨	③平成26年7月豪雨
状況写真	 (善福寺川の浸水状況)	 (妙正寺川北原橋付近：中野区提供)	 (善福寺川松溪橋付近：杉並区提供)
発生年月日	昭和33年9月27日	平成17年9月4日	平成26年7月24日
観測所	東京管区气象台(大手町)	下井草	芝久保
1時間最大雨量(mm/h)	76	112	77
24時間雨量 (mm)	392	263	121
浸水面積(km ²)	211.03	1.72	0.036
床上・床下浸水家屋(棟)	約460,000	約6,000	約170
死傷者(人)	203	0	0

※1時間最大、24時間雨量は、都内全域での最大値を示す。

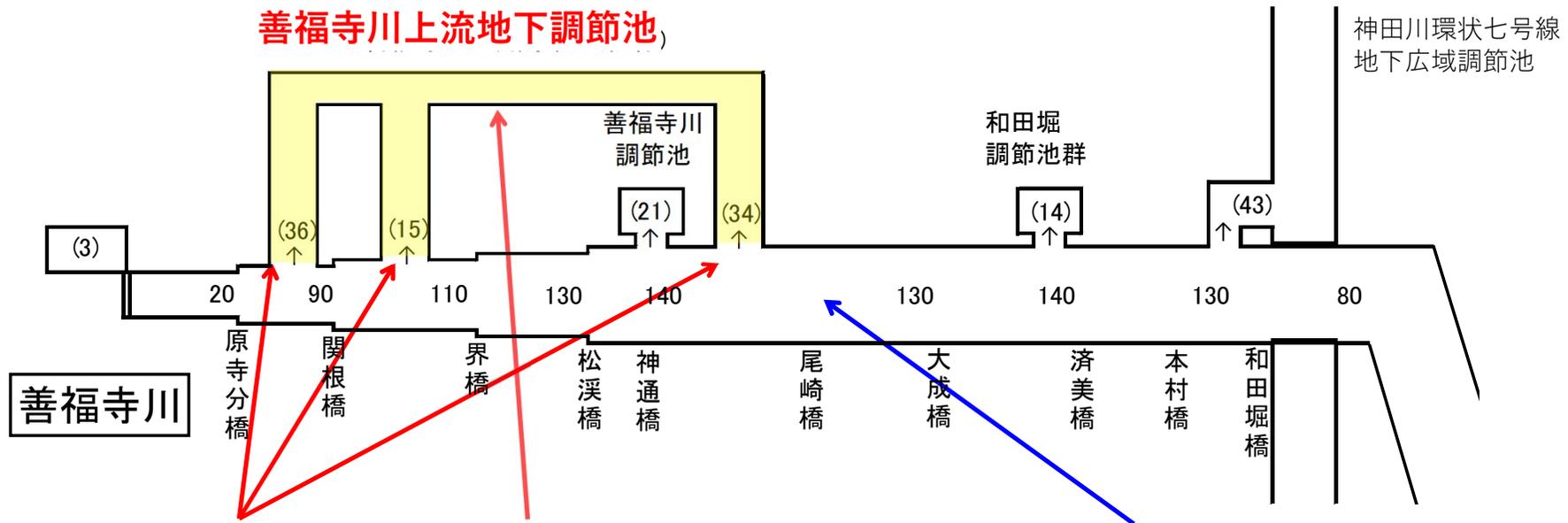
死者、浸水面積、浸水家屋数は、内水・外水すべてを含み、都内全域の数を示す。

3. 整備の効果

善福寺川上流地下調節池の整備効果

■大雨により河川水位が上昇した際に、調節池に一時的に川の水を貯留することで下流の河川の水位を下げ、浸水被害を防ぐ。

●流量配分図【単位 m³/s】



①取水施設イメージ



河川水位が上昇した際に取水

②調節池(本体)イメージ



取水施設から取り込んだ水を貯留

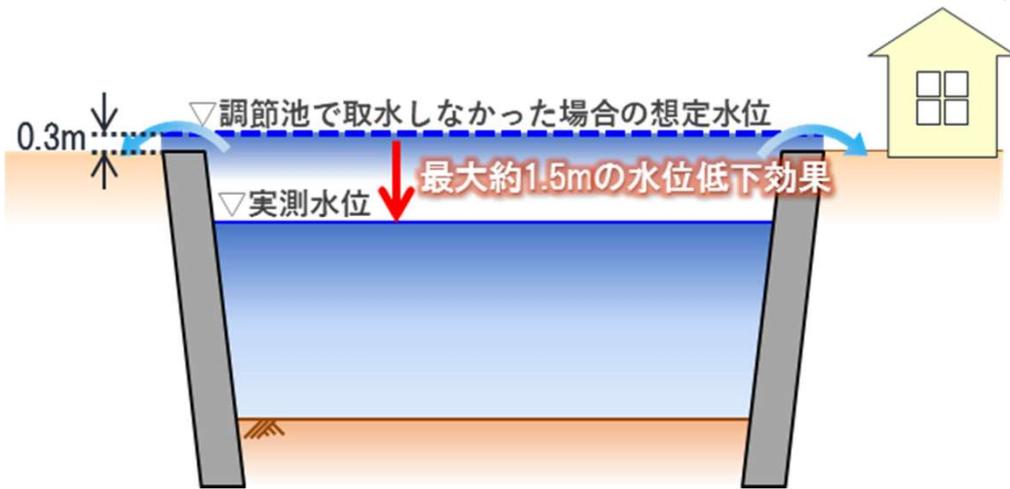
③下流河川イメージ



下流の水位を低下させる

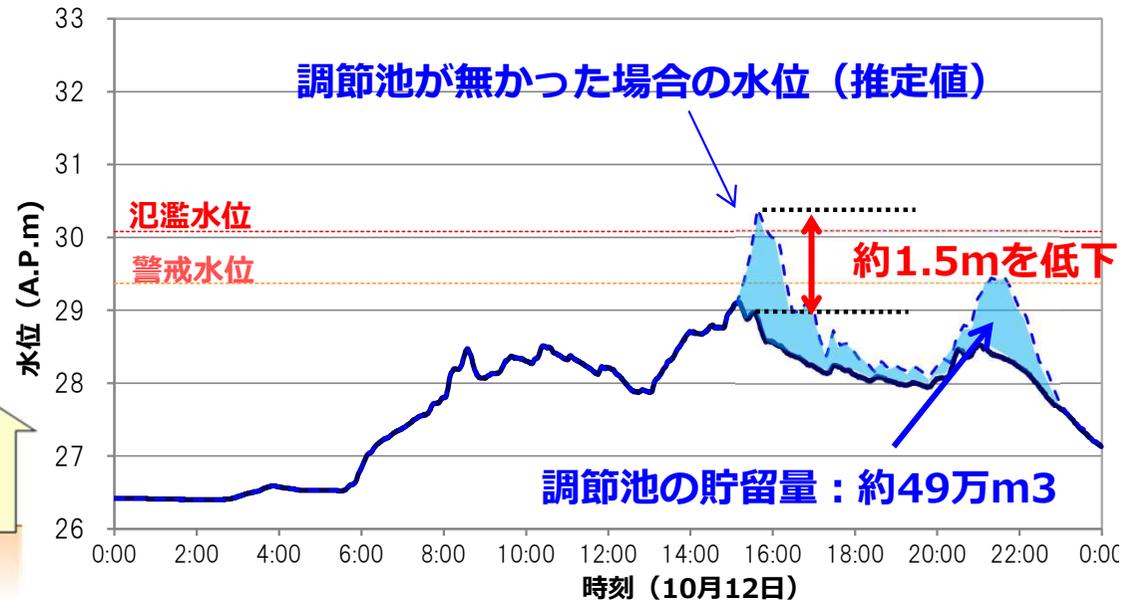
令和元年東日本台風での環状七号線地下調節池の効果

環状七号線地下調節池



<水位低下のイメージ>

調節池容量の約9割（約49万 m^3 ）を取水し、調節池より下流の河川水位を最大約1.5m低下させたと推定



<水位の時系列変化>



溢水防止に大きな効果を発揮

4. 調節池の概要

調節池の概要

- 都立善福寺川緑地から杉並区立関根文化公園を結ぶ地下トンネル式調節池
- 洪水を貯留するトンネル、3箇所の取水施設、維持管理を行う管理棟などで構成

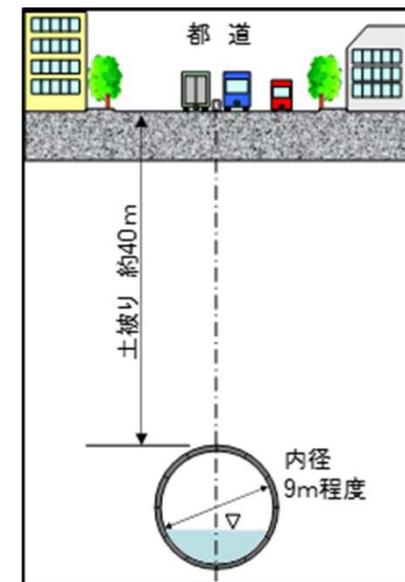
平面図

調節池諸元

調節池容量：約30万 m^3
 本管：延長約5.8km、内径 ϕ 9.0m、内径 ϕ 7.5m
 連絡管：延長約0.01km、内径 ϕ 4.4m



断面図



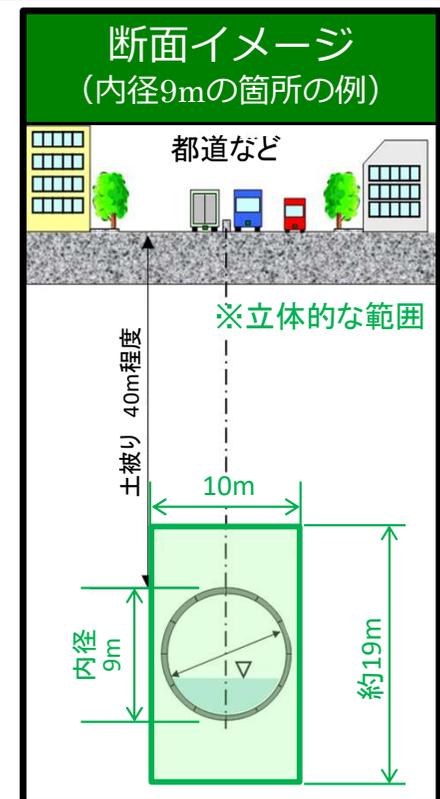
【凡例】

- --- トンネル本体工事
- --- 連絡管工事
- (丸：立坑 線：トンネル)

東京都市計画河川 第8号善福寺川



凡 例	
	計画変更新線
	立体的な範囲
	既定計画線

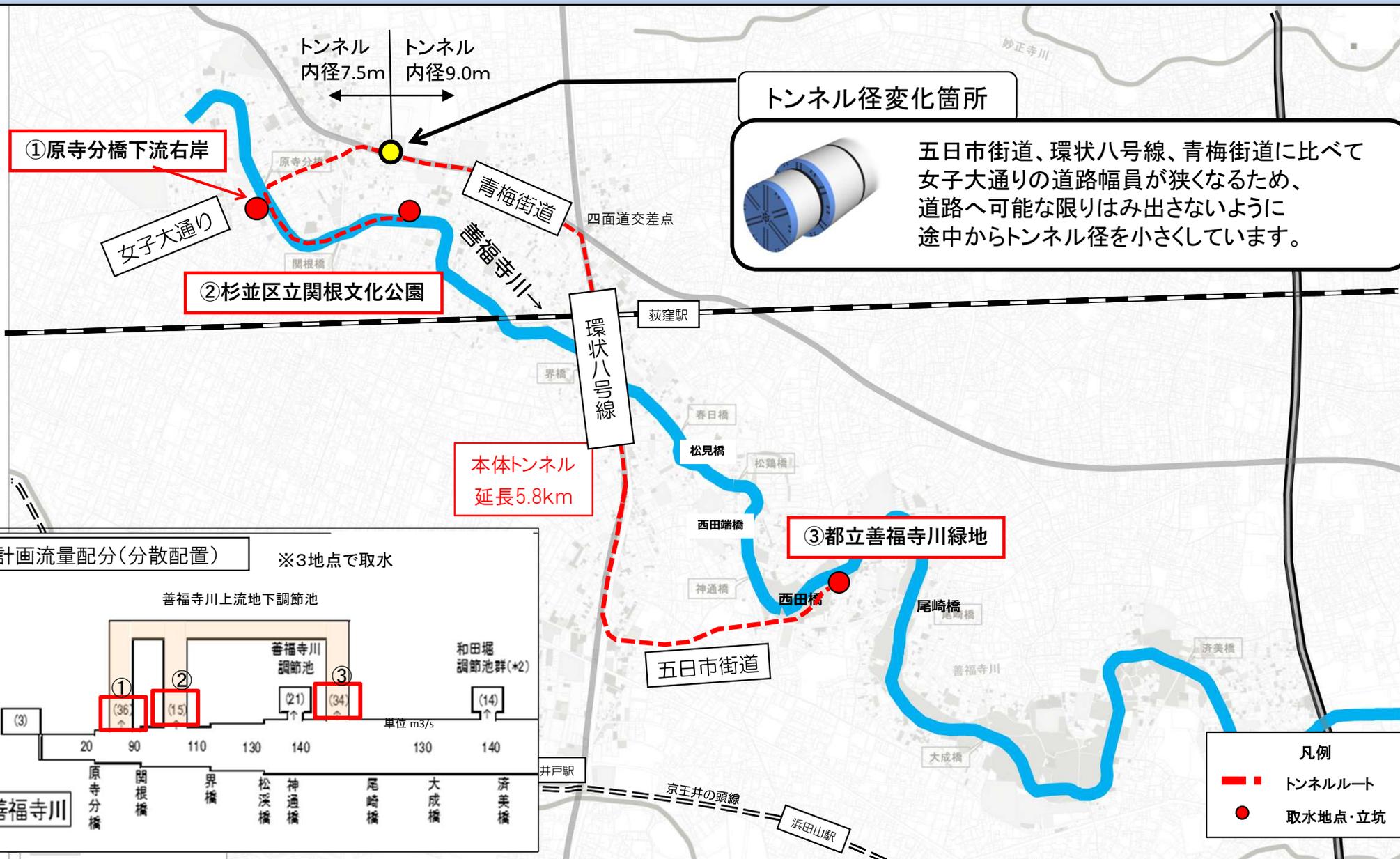


「この地図は、国土地理院長の承認(平24関公第269号)を得て作成した東京都地形図(S=1:2,500)を使用(3都市基交第817号)して作成したものである。無断複製を禁ずる。」

名称	位置	面積	構造
東京都市計画河川 第8号善福寺川	杉並区西荻北四、五丁目、上荻一、二、三、四丁目、善福寺一丁目、桃井四丁目、南荻窪一、四丁目、荻窪一、二、四、五丁目、宮前二丁目、高井戸東四丁目、成田西二及び三丁目各地内	約60,100m ²	トンネル式 地下式

調節池の計画について

本調節池のトンネルルートは道路等の公共用地を活用して整備することを基本とし、約30万m³の容量を満たすようなトンネルの長さや径を決定しています。



工事工程について

◆工事期間 令和7年度～令和23年度(予定)

年度	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	
	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	
善福寺川緑地	準備	立坑 (ニューマチックケーソン)			トンネル (シールド工法)				立坑 (内部整備)	取水施設			管理棟・設備			復旧		
関根文化公園		準備	立坑 (ニューマチックケーソン)		取水施設	立坑 (内部整備)		管理棟・設備			復旧							
原寺分橋 下流右岸		準備	立坑 (ニューマチックケーソン)			連絡管	立坑 (内部整備)		取水施設			管理棟・設備						
調節池 運用											 関根文化公園 から取水開始			善福寺川緑地および 原寺分橋下流右岸部 から取水開始予定				

※工程は現在設計中の為、変更となる場合があります。
 長期間となるため、今後も期間が短くなるよう検討していきます。

- トンネル本体工事(R7～17年度予定)
- その他工事(R16～23年度予定)
- 連絡管工事ほか(R11～23年度予定)